

フクシマ連帯キャラバン報告書

全港湾ひたち支部 黒羽 優太

今回、フクシマ連帯キャラバンの要請行動に参加して、福島原発事故の問題について改めて考える機会になりました。これまでニュースなどで知っているつもりでしたが、実際に要請行動に参加し、自治体の方に直接声を届ける活動を通して、事故の影響や課題が今も続いていることを実感しました。また、原発事故の教訓を風化させないことの大切さも感じました。今回の経験を通して、福島の問題を自分とは関係のない出来事として考えるのではなく、これからも関心を持ち続けていきたいと思いました。そして、今回学んだことを職場の方や友人にも伝えていきたいと思います。